2025 年 3 月 31 日　時点

明治学院大学　情報数理学部情報数理学科　履修要項　新旧対照表

入学時に配布した履修要項について、下記のとおり変更箇所がありますので、各自で読み替えてください。
毎年度掲示する履修の手引きもあわせて確認してください。

2024 年度生

<table>
<tr><th>変更日</th><th>ページ</th><th>変更項目</th><th>変更後（赤字・下線部）</th><th>変更前</th></tr>
<tr><td>2025/3/31</td><td>—</td><td>AI・データサイエンス教育プログラム</td><td>所定の修了要件を満たした者は、それぞれ修了認定証「ベーシック」、「スタンダード」および「スタンダードプラス」が取得できます。</td><td>＜レベル2＞および＜レベル3＞の修了要件を満たした者は、それぞれ修了認定証「ベーシック」および「スタンダード」が取得できます。</td></tr>
<tr><td>2025/3/31</td><td>—</td><td>AI・データサイエンス教育プログラム</td><td>【開講科目】
<table>
<tr><th>レベル</th><th>科目名称（半期2単位）</th><th>履修可否</th><th>学科におけるみなし科目</th></tr>
<tr><td>1</td><td>AI・データサイエンス入門</td><td>不可</td><td>数理と情報
コンピューターとクラウドシステム</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td>データ解析・活用入門</td><td>不可</td><td>データ構造とアルゴリズム</td></tr>
<tr><td>プログラミング入門</td><td>不可</td><td>初級プログラミング</td></tr>
<tr><td>AIと人間</td><td>可
（「数理と情報」の単位修得後）</td><td></td></tr>
<tr><td>統計学1（または2）</td><td>可</td><td>統計の数理</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3</td><td>データ解析・活用基礎</td><td rowspan="3">不可</td><td>データ駆動型社会とデータサイエンス</td></tr>
<tr><td>AI基礎</td><td>人工知能</td></tr>
<tr><td>PBL演習</td><td>Project Based Learning</td></tr>
</table></td><td>【開講科目】
<table>
<tr><th>レベル</th><th>科目名称（半期2単位）</th><th>履修可否</th><th>学科におけるみなし科目</th></tr>
<tr><td>1</td><td>AI・データサイエンス入門</td><td>不可</td><td>数理と情報</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td>データ解析・活用入門</td><td>不可</td><td>データ構造とアルゴリズム</td></tr>
<tr><td>プログラミング入門</td><td>不可</td><td>初級プログラミング</td></tr>
<tr><td>AIと人間</td><td>可
（「数理と情報」の単位修得後）</td><td></td></tr>
<tr><td>統計学1（または2）</td><td>可</td><td>統計の数理</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3</td><td>データ解析・活用基礎</td><td rowspan="3">2025年度より開講予定のため未定</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>AI基礎</td></tr>
<tr><td>PBL演習</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>2025/3/31</td>
<td>—</td>
<td>AI・データサイエンス教育プログラム</td>
<td>【修了認定証（下記文中の「必修」「選択必修」は、認定証を取得する条件のこと）】
・ベーシック：学科必修科目の「数理と情報」、「コンピュータとクラウドシステム」および「データ構造とアルゴリズム」、「初級プログラミング」、「統計の数理」の単位を修得することで、ベーシックの認定証を取得できる。明治学院共通科目の「AI と人間」については選択科目であり、必ず単位の修得が求められる科目ではない。
・スタンダード：「ベーシック」取得後、「データ駆動型社会とデータサイエンス」および「人工知能」の単位を修得することでスタンダードの認定証を取得できる。
・スタンダードプラス：「スタンダード」取得後、「Project Based Learning」の単位を修得することでスタンダードプラスの認定証を取得できる。</td>
<td>【修了認定証（下記文中の「必修」「選択必修」は、認定証を取得する条件のこと）】
・ベーシック ：「AI ・ データサイエンス入門」及び「データ解析 ・ 活用入門」「プログラミング入門」（3 科目各 2 単位計6単位）が必修。「統計学1（または2）」と「AI と人間」は、いずれかを選択必修とし、4科目計8単位の履修をもってベーシック段階の認定をする。
・スタンダード ： ベーシック段階終了後、＜レベル3＞の科目を履修（詳細未定）。</td>
</tr>
<tr>
<td>2025/3/31</td>
<td>—</td>
<td>能力要件表</td>
<td>
<table>
<tr><td colspan="2">学士力</td><td>知識・理解</td><td>汎用的技能</td><td>態度・志向性</td><td colspan="2">総合的な学修経験と創造的思考力</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応する「期待される学修成果」</td><td>期待される学修成果2</td><td>期待される学修成果2・4</td><td>期待される学修成果1・4</td><td>期待される学修成果3</td><td>期待される学修成果1・3</td></tr>
<tr><td colspan="2">「期待される学修成果」から抽出した身につく能力</td><td>現代社会が 抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識</td><td>多面的思考・判断力、コミュニケーション力</td><td>多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度</td><td>課題発見力</td><td>解決策提示力、社会参画による他者貢献</td></tr>
<tr><td>授業科目名</td><td>単位</td><td>年次</td><td colspan="5">科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=〇</td></tr>
<tr><td>MGPHY121物理学方法論A</td><td>2</td><td>1</td><td>〇</td><td>〇</td><td></td><td>〇</td><td>◎</td></tr>
<tr><td>MGPHY122物理学方法論B</td><td>2</td><td>1</td><td>〇</td><td>〇</td><td></td><td>〇</td><td>◎</td></tr>
</table>
</td>
<td>
<table>
<tr><td colspan="2">学士力</td><td>知識・理解</td><td>汎用的技能</td><td>態度・志向性</td><td colspan="2">総合的な学修経験と創造的思考力</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応する「期待される学修成果」</td><td>期待される学修成果2</td><td>期待される学修成果2・4</td><td>期待される学修成果1・4</td><td>期待される学修成果3</td><td>期待される学修成果1・3</td></tr>
<tr><td colspan="2">「期待される学修成果」から抽出した身につく能力</td><td>現代社会が 抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識</td><td>多面的思考・判断力、コミュニケーション力</td><td>多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度</td><td>課題発見力</td><td>解決策提示力、社会参画による他者貢献</td></tr>
<tr><td>授業科目名</td><td>単位</td><td>年次</td><td colspan="5">科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=〇</td></tr>
<tr><td>MGPHY121物理学方法論A</td><td>2</td><td>1</td><td>◎</td><td>〇</td><td></td><td>〇</td><td>〇</td></tr>
<tr><td>MGPHY122物理学方法論B</td><td>2</td><td>1</td><td>◎</td><td>〇</td><td></td><td>〇</td><td>〇</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>2025/3/31</td>
<td>48
59</td>
<td>能力要件表
短期留学認定科目</td>
<td>中国語圏研究（短期留学）</td>
<td>中国研究　（短期留学）</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>2025/3/31</td>
<td>69</td>
<td>超過して修得した単位の扱い</td>
<td>
<table>
<tr><th>単位グループ</th><th>必要単位</th><th>超過単位の扱われるグループ</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td>外国語科目
②</td><td>8単位</td><td>明治学院共通科目
自由選択科目
④</td><td rowspan="2">外国語科目の卒業要件として認められる単位数は、16単位以下に限る。</td></tr>
<tr><td>自然科学系科目群
情報処理系科目群
③</td><td>4単位</td><td>明治学院共通科目
自由選択科目
④</td></tr>
<tr><td>明治学院共通科目
自由選択科目
④</td><td>8単位</td><td>フリーゾーン
⑪</td><td></td></tr>
<tr><td>学科科目
【基礎科目群A･B】
⑥</td><td>6単位</td><td>学科科目 自由選択科目
⑩</td><td></td></tr>
<tr><td>学科科目【社会と情報】
⑦</td><td>4単位</td><td>学科科目 自由選択科目
⑩</td><td></td></tr>
<tr><td>コース科目選択必修
⑨</td><td>10単位</td><td>学科科目 自由選択科目
⑩</td><td></td></tr>
<tr><td>学科科目 自由選択
⑩</td><td>24単位</td><td>フリーゾーン
⑪</td><td></td></tr>
</table>
</td>
<td>
<table>
<tr><th>単位グループ</th><th>必要単位</th><th>超過単位の扱われるグループ</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td>②</td><td>8単位</td><td>④</td><td>外国語科目の卒業要件として認められる単位数は、16単位以下に限る。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>4単位</td><td>④</td><td></td></tr>
<tr><td>④</td><td>8単位</td><td>⑪</td><td></td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>6単位</td><td>⑩</td><td></td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>4単位</td><td>⑩</td><td></td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>10単位</td><td>⑩</td><td></td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>24単位</td><td>⑪</td><td></td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>2025/3/31</td>
<td>69</td>
<td>履修中止除外科目について</td>
<td>履修中止除外科目について
学修の手引き「7．履修中止制度」において、履修中止ができない科目のうち、各学科において定めている履修中止の申請ができない科目は以下のとおりである。
講義：人工知能･離散数学･応用統計学
演習：人工知能演習･離散数学演習･応用統計学演習</td>
<td>履修中止除外科目について
学修の手引き「7．履修中止制度」 において、履修中止ができない科目のうち、各学科において定めている履修中止の申請ができない科目の指定はない。</td>
</tr>
<tr>
<td>2025/3/31</td>
<td>69</td>
<td>再試験</td>
<td>再試験
4年以上（休学期間を除く）の在学者のうち、卒業年度の成績において学科科目のうち講義科目（2単位科目）が不合格（D評価に限る）であったために卒業に必要な科目要件と単位数を満たすことができなかった者については、当該1科目に限り試験を再度受ける機会を設ける。該当者の発表は3月の卒業者の発表と同時に行い、試験は3月に実施する。ただし、9月卒業申請者に対する再試験は実施しない。</td>
<td>再試験
4年以上（休学期間を除く）の在学者のうち、卒業年度の成績において学科科目1科目が不合格（D評価に限る）であったために卒業に必要な科目要件と単位数を満たすことができなかった者については、当該1科目に限り試験を再度受ける機会を設ける。該当者の発表は3月の卒業者の発表と同時に行い、試験は3月に実施する。</td>
</tr>
</table>

			また、Project Based Learning、卒業研究、英語文献講読および次の科目については再試験を行わない。 情報と法　AI と法　Business English A　Business English B	ただし、以下の科目については再試験を行わない。 情報と法　AI と法　Business English A　Business English B

以上